

YMCA

K U M A M O T O

NEWS

August 2010
vol.459

8

基本聖句 喜ぶ人と共に喜び、
泣く人と共に泣きなさい
(ローマの信徒への手紙第12章15節)

熊本YMCAの使命
共に生きる社会 地球環境の保全 生涯学習の推進
ウエルネス活動 ボランティア活動 平和な世界

■ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp
■ブログ kumamoto-ymca.wablog.com
■メールマガジン登録 www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

●発行所／(財)熊本YMCA／〒860-8739熊本市新町1-3-8 TEL096-353-6397代
●編集人／堀 雄二 ●発行人／堀 弘雄 2010年8月1日発行(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可 定価60円(送料60円)

CONTENTS

- ② 見て、読んで、感じる平和の絵本
- ②・③ event report
交流デイキャンプ/学童五輪体操男子団体優勝
阿蘇保育園サバイバルスイミング/上通ゆかた祭
- ③ 日本語科留学生 小学生・ボランティアとの交流会
春季三水会・韓国大邱YMCA職員研修受入れ
アガベNo.53「世界の仲間と共に」
- ④ Life 第29回
くまもと子どもの人権テーブル 砂川真澄さん①
YMCA NETWORK (地域YMCA情報)
みなみYMCA/阿蘇YMCA/リフレスおおむた

核兵器のない平和な世界への願い

「ヒロシマ・ナガサキ議定書を読む絵本」から

広島・長崎に原子爆弾が投下されて65年。以来、世界で唯一の被ばく国である日本は、核の悲惨さと核兵器の廃絶を世界へ向け訴えかけてきました。核軍縮の機運が高まる現在も、地球上には約3万発もの核兵器が存在していると言われ、世界は変わらず核の脅威にさらされています。

2020年までの核兵器廃絶を目標に、今年5月のNPT(核不拡散条約)再検討会議での「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の採択を目指し活動してきた「YES! キャンペーン」に全国のYMCAが賛同。聖書は「敵を愛しなさい」「平和を実現する人々は、幸いである」と伝えていきます。「YES! キャンペーン」とは、「NO!」を突きつける反対運動ではなく、「核兵器廃絶にYES!」と呼びかけるキャンペーンです。このキャンペーンでは、核兵器を廃絶する道筋を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の存在を全国に広めるため、イラストを交え議定書を平易な言葉で解説した「ヒロシマ・ナガサキ議定書を読む絵本」を制作し、この本の売上げをもとにPR活動を展開。5月に開かれたNPT再検討会議の一般討論演説で「ヒロシマ・ナガサキ議定書」について言及される成果へとつながりました。

今回は、YES! キャンペーン実行委員会代表の延本真栄子さんに「ヒロシマ・ナガサキ議定書を読む絵本」についてご紹介いただき、核兵器のない平和な世界の実現へ向けて考えます。

2008年4月、世界144カ国4037の都市が加盟する(2010年7月現在)平和市長会議が2020年に核兵器を廃絶するための確かな道筋として「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を発表しました。昨年5月時点ではこの議定書の認知度は低く、普及は進んでいませんでした。そこで、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」をたくさんの人たちに知ってもらい、唯一の被ばく国として、日本政府に核廃絶に向けて積極的に行動するようになってもらいたい、と、議定書を分かりやすく読み解く絵本を制作することにしました。幸い世界的なイラストレーター黒田征太郎さんが快く引き受けてくださり、彼の紹介で素晴らしいスタッフが揃い、2009年7月に絵本が完成、ワンコイン(500円)で販売を始めました。

日本YMCA同盟の大きな支援をいただき、また、本を買ってくださった方たちが「良い本だから友人に贈りたい。紹介したい」という口コミ、広島以外の



わたしと聖句

イザヤ第49章15節

女が自分の乳飲み子を忘れるであらうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであらうか。たとえ、女たちが忘れようとも、わたしがあなたを忘れることは決してない。

永遠の愛

私たちが母親のお腹に宿ったときから、大きな愛情を受けて成長し

す。産まれ出てからも両親の愛情を一身に受けて育ちます。神はその母親以上に私たちひとり一人に目を留め、片時も離れず見守ってくださると言うのです。問題なのはこんな大きな深い愛を受けていながら気づかないばかりか、すべてが偶然的な産物であるかのように神に感謝せず、すべて自分の力で生きているかのように思いこんでいる傲慢な心です。どうしたらこの神の愛に目覚めることができるでしょうか。それは案外難しくありません。顔を神に向け、少しだけ子どものような素直な心になって祈ってみるのです。

聖書を読む前の私自身もそうでしたが、神の存在を否定する勇氣もなく、かといって肯定するだけの根拠を持ち合わせているわけでもなく曖昧なものでした。私にとってこの聖書のみことは神に対する意識を大きく変える助けとなりました。神が私たちと同じ感情の持ち主であること、親はいつかなくなりますが、神は永遠に存在され、私たちに対するその愛も変わらないことを知った時、人は真の安息を得るのだと思っています。

日本バプテスト連盟 天草伝道所
南 圭生

地域の方たちの大きな支援で2009年8月、2010年6月までに17000冊の本を売ることができたのです。

核兵器の被害が悲惨なのは、その影響は被ばく者だけにとどまらないことです。被ばく者は生き残っても、放射能の影響を考え、不安なままの一生を送ります。また、子どもに、孫に被ばくの影響が出てくることもあるのです。土も水も空気も汚染されます。現在の1個の核兵器は地球を壊してしまします。今もそんな核兵器がこの地球上に多く存在しています。昨年、アメリカ大統領のオバマ氏がプラハでの演説で「核兵器のない世界を目指す」と発言し、「核兵器廃絶は現実味を見せ始めてはいますが、まだまだ厳しい現状です。」

戦後65年目を迎える今、日本が戦争をしたことも、被ばくの実態を知らない人たちが増えてきています。どうぞヒロシマ・ナガサキに来て、被ばくの実態を知ってください。自分ももしその場所にいたらと想像してください。これからは若い人たちの時代です。戦争を始めるのも人間、戦争をやめることができるのもまた人間なのです。どうぞこの絵本を読んで、そして考えてください。「自分に何ができるかを」行動してください。「自分にできることから」。若い人たちの行動力を信じています。

- もう二度と同じ過ちを繰り返してはならない。今ある笑顔をとりあげないで、今よりもっと多くの笑顔を！ そんな世界にしよう。(YMCA学院医療事務管理学科 リバティドルフィンズクラスリーダー 島村明日香)
- 約束はヒトリではできない。核兵器の廃絶は世界の願い。もう広島と長崎の痛みを繰り返したくない。人間による悲劇は二度と見たくない。核兵器を持つ国々。互いを信じてほしい。(熊本YMCA学院日本語科 陳文浩)
- 今あなたが笑顔だったら、その笑顔を隣にいる友だち、家族、近所の人、そして世界中の人々に伝えよう。未来にたくさんの笑顔をつなげるために。(国際ユースボランティア 井上佳奈)
- 日本で平和について真剣に考えている人が、果たしてどのくらいいるだろう。自分のことで精一杯かもしれないけれど、この絵本で自分を省みる人が少しでも増えればいいと思う。(熊本大学YMCA花陵会 渡邊隆弘)
- 一瞬にして無数の命が失われ、未来が奪われた心の闇は明るくなることはない。あんな血や涙を二度と味わってほしくない。無核兵器を求めて、拳の中に握っている平和を守りたい。(熊本YMCA学院日本語科 曲陽)
- 唯一の被爆国、日本。その恐怖を知る私だからこそ風化させてはいけない。一人が頑張れば「波」は起こせる。私は伝える、核兵器は無意味だと。(国際ユースボランティア 上野綾子)